

ケルン市立ヴァルラフ＝リヒャルトツ美術館
コルプー財団所蔵

印象派のあゆみ

主 催：静岡県立美術館 静岡新聞社・SBS静岡
放送
後 援：在日ドイツ連邦共和国大使館／総領事館
協 力：ルフトハンザ ドイツ航空
ルフトハンザ カーゴAG
協 賛：JR東海
会 期：平成14年10月27日(日)～12月8日(日)
休 館 日：毎週月曜日と11月5日(火)

学芸員によるフロア・レクチャー
11月3日(日)、24日(日) 14:00～
11月30日(土) 13:00～
12月1日(日) 14:00～
12月5日(木) 13:00～
講師 新田建史 南 美幸 村上 敬(当館学芸員)

ドイツのケルン市立ヴァルラフ＝リヒャルトツ美術館コルプー財団所蔵品から、印象派前後の作品を選び、出品した。単にフランスの印象主義者たちの作品を展示するのみならず、フランスにおける印象主義以前と以後、そしてドイツにおける印象主義の受容や展開などを概観する展示となった。

コローやクールベ、ルソー、ミレーらの作品は、既に伝統的な画法から踏み出しつつ、印象派への準備を行なっている。またピサロやモネ、ルノワールら、いわゆる印象派の画家たちの作品は、「印象派」という言葉でひとくくりにされてしまう作品群の持つ多様さを、よく示していた。ゴーギャン、ゴッホ、シニャックらの作品からは、印象派の作品が持っていた展開への可能性がうかがわれた。さらにこれらは、リーパーマンやトリューブナー、ローヴィス・コリントらドイツの作家たちの作品と比較された。これにより、二つの地域ごとの作風の違いが明確になった。

カタログ

29.0×22.5cm

143頁

印象派の絵画 主題と巨匠たち / Dr. ゲッツ・ツイメック
(ヴァルラフ＝リヒャルトツ美術館コルプー財団主任学芸員)

作家・作品解説

出品リスト

関連事業

特別講演会

「印象派展で語る美術の印象」

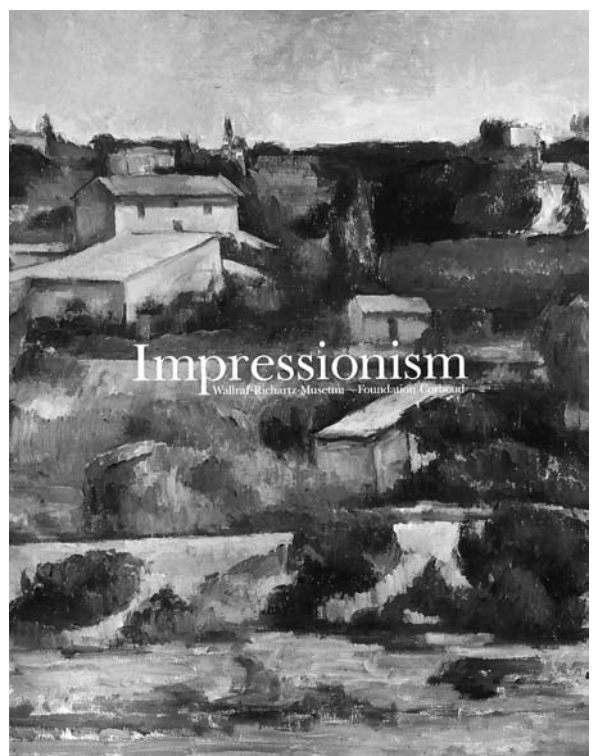
講師 加藤淳氏(プロデューサー、デザインプランナー)

日時 11月10日(日)

第1部 14:00～14:45 講堂にて

第2部 15:00～15:30 「印象派のあゆみ」

展会場にて



カタログ

出品目録

作者名	作品名	制作年	材質等	寸法 (cm)
1 ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレー	1870年頃	油彩・カンヴァス	50×65
2 ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	アルルー＝バリユエル付近の古いレンガの橋	1871	油彩・カンヴァス	51×90
3 ルイ・ガブリエル・ウジェーヌ・イザベイ	海辺	1845頃	油彩・厚紙	25×31.6
4 ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	花の静物画		油彩・カンヴァス	93×72
5 ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	秋のフォンテーヌブローの森		油彩・板	27.5×40.7
6 ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の道		油彩・板	26×19.8
7 コンスタン・トロワイヨン	牧場の牛		油彩・板	22×42.5
8 コンスタン・トロワイヨン	牧場の牛		油彩・板	23.5×34.5
9 テオドル・ルソー	森の風景		油彩・カンヴァス	36×55
10 フェリックス・イポリート・ラヌー	ヴェルサイユ近郊の工事風景		油彩・カンヴァス	41×32.5
11 ジャン＝フランソワ・ミレー	横たわる裸婦	1846/47頃	油彩・カンヴァス	54×65
12 シャルル＝フランソワ・ドービニー	オプトヴォスの溪谷	1857頃	油彩・板 (シナノキ材)	32×57
13 シャルル＝フランソワ・ドービニー	花咲くりんごの木	1857頃	油彩・カンヴァス	45×82
14 フランソワ・ボンヴァン	果物の静物 (ぶどう、桃、サクランボ)		油彩・カンヴァス	24×41
15 ギュスターヴ・クールベ	海辺	1865/66頃	油彩・カンヴァス	53.5×64
16 ギュスターヴ・クールベ	シヨン城	1873	油彩・カンヴァス	54×67
17 ギュスターヴ・クールベ	滝のある岩の風景		油彩・カンヴァス	74.5×99.5
18 カミーユ・ピサロ	ポントワーズの果樹園、日没	1878	油彩・カンヴァス	46×55
19 カミーユ・ピサロ	ヴァランジュヴィルのぶどう畑	1899	油彩・カンヴァス	46.5×55.5
20 エドゥアール・マネ	アスパラガス (静物)	1880	油彩・カンヴァス	46×55
21 アンリ・ファンタン＝ラトゥール	シャクナゲの小枝	1874	油彩・カンヴァス	54×57
22 アンリ・ファンタン＝ラトゥール	花束を活けた花瓶	1878	油彩・カンヴァス	46×39
23 ヨハン・クリスティアン・クローナー	獵師たちの集い		油彩・厚紙	30×48
24 アルフレッド・シスレー	ルーヴシエンヌの周辺	1876	油彩・カンヴァス	61×46
25 ボール・セザンヌ	エクス＝アン＝プロヴァンス西部の風景 (ベルヴェ平原)	1885/87	油彩・カンヴァス	65×81
26 ボール・セザンヌ	洋梨のある静物	1895/1900	油彩・カンヴァス	38×46
27 アンドレ・ジル (ルイ・アレクサンドル・ゴセ・ド・ギー)	エミール・ド・ジラルダン	1865頃	油彩・カンヴァス	91.5×73
28 クロード・モネ	アニエールのセーヌ河	1873	油彩・カンヴァス	55×74
29 クロード・モネ	エトルタの海岸の漁船	1884	油彩・カンヴァス	74×101
30 クロード・モネ	セーヌ河風景	1884/85頃	油彩・カンヴァス	67×82.5
31 オーギュスト・ルノワール	休息する裸婦	1890-95頃	油彩・カンヴァス	46×63
32 オーギュスト・ルノワール	縫い物をしているジャン・ルノワール	1898	油彩・カンヴァス	55×46

作者名	作品名	制作年	材質等	寸法 (cm)
33 カール・シューフ	鴨とほうろう鍋の静物画	1880	油彩・カンヴァス	58×73
34 マックス・リーパーマン	海岸で乗馬する男女	1910頃	油彩・カンヴァス	72.5×101
35 マックス・リーパーマン	馬と馬丁	1912	油彩・厚紙	81×64.5
36 マックス・リーパーマン	馬に乗る画家の娘ケーテ	1913	油彩・カンヴァス	80×100
37 エドゥアール＝ジョゼフ・ダンタン	緑の中に座る女性	1886	油彩・厚紙	39×19
38 ボール・ゴージャン	秣を集める	1884	油彩・カンヴァス	58.4×72.4
39 フリッツ・フォン・ウーデ	庭にいる画家の3人の娘たち	1908/10頃	油彩・カンヴァス	55×67
40 クリスティアン・ロールフス	ゾーストの塔	1906	油彩・厚紙	67.5×97.5
41 ゴットハルト・キュール	笑う女性	1903	油彩・厚紙	53.5×38
42 ヴィルヘルム・トリュブナー	洗礼者ヨハネの首		油彩・板 (柳材)	17.5×24
43 ヴィルヘルム・トリュブナー	フラウエンキームゼーにて	1891	油彩・カンヴァス	62×76
44 フィンセント・ファン・ゴッホ	クリシーの橋	1887	油彩・カンヴァス	54.8×46.1
45 フィンセント・ファン・ゴッホ	牛の習作、ヨルダーンズによる	1890	油彩・カンヴァス	55×65
46 ローヴィス・コリント	ハンブルクの皇帝記念日	1911	油彩・カンヴァス	70.5×90.5
47 ローヴィス・コリント	ガラスの花瓶に活けた赤いバラ	1919	油彩・板 (菩提樹材)	54.5×36
48 ボール・シニャック	サン＝トロペ、静寂	1895	油彩・板	18.5×27
49 ボール・シニャック	カボ・ディ・ノリ	1898	油彩・カンヴァス	91.5×73
50 ボール・シニャック	サモワ習作 (サモワのセヌ河)	1899	油彩・厚紙に貼ったカンヴァス	26.8×34.9
51 ボール・シニャック	コンカルノー、港	1933	油彩・カンヴァス	53×73
52 ウィリアム・ドグーヴ・ド・ニュンク	雪景色	1925頃	油彩・カンヴァス	66×57
53 ピエール・ボナール	裸婦	1910	油彩・カンヴァス	123×46
54 ピエール・ボナール	ボートにて (ヴェルノン)		油彩・カンヴァス	81.5×116
55 マックス・スレフォークト	カール・シュタインパートの肖像	1918	油彩・カンヴァス	105×84
56 マックス・スレフォークト	サクランボの収穫、ノイカステルの眺め	1926	油彩・カンヴァス	90.5×116
57 エドゥアール・ヴユイヤール	アトリエの女性	1910/13頃	油彩・カンヴァスに紙	85.5×94
58 マックス・フリードリヒ・フェルディナント・ラーベス	1915年、戦争時のブリュッセル中央広場	1915	グワッシュ、紙	60×81
59 レオ・ブッツ	グレーの肖像 (フリーダ・ブレル)	1906	油彩・カンヴァス	110×100
60 アウグスト・ドイサー	ティンパニ奏者とトランペット奏者	1907	油彩・カンヴァス	50×61.5
61 モーリス・ユトリロ	サーカス、あるいはヴォジラールの祭り	1927	油彩・カンヴァス	60×81